

| 項目       | 内容   |
|----------|--|
| 名称       | タンジン [英]Danshen、 Red sage、 Chinese salvia [学名]Salvia miltiorrhiza Bunge  |
| 概要       | <p>タンジンは中国原産の高さ30～100 cmの多年草で、茎は黄白色の柔毛と腺毛におおわれ、赤紫の根をもつ。5～8月に青紫色の唇形花をつける。古くから漢方(丹参)として根を乾燥させたものが使用されるが、日本では根は医薬品に分類されるため食品に用いることはできない。</p>  <p style="font-size: small; text-align: center;">写真提供: 東京都健康安全研究センター</p> |
| 法規・制度    | <p>■ <b>食薬区分</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・葉：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質(原材料)」に該当する。</li> <li>・根：「専ら医薬品として使用される成分本質(原材料)」に該当する。</li> </ul> <p>■ <b>日本薬局方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タンジンが収載されている。</li> </ul>  |
| 成分の特性・品質 |  |
| 主な成分・性質  | ・タンシノン、タンシノール、クリプトタンシノン、サルビオール、ビタミンEなどを含む (23) (29) (33) (75)。   |
| 分析法      | -  |

## 有効性

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p>循環器・呼吸器</p> <p>ヒトでの評価</p> | <p><b>メタ分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2006年8月までを対象に9個のデータベースと10種の中国語雑誌などで検索できた無作為化または準無作為化比較試験6報について検討したメタ分析において、急性虚血性脳卒中の患者によるタンジン摂取は神経障害の患者数増加と関連が認められたが、全ての研究の質が低く、信頼できる結論は得られなかった (<a href="#">PMID:17443544</a>)。</li> <li>・2006年までを対象に4つのデータベースと75種の中国医学雑誌で検索できた無作為化または準無作為化比較試験6報について検討したメタ分析において、心筋梗塞患者によるタンジン7日以上摂取は、総死亡率の低下と関連が認められたが、全ての研究の質が低く、信頼できる結論は得られなかった (<a href="#">PMID:18425903</a>)。</li> </ul> <p><b>RCT</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・軽～中程度高血圧患者55名 (試験群30名、平均67.1±8.7歳、台湾) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、降圧薬の服用とともに、タンジン1,000 mg×2回/日を12週間摂取させたところ、収縮期血圧と脈拍数の低下が認められた (<a href="#">PMID:21887804</a>)。</li> </ul> |
| 消化系・肝臓                       | 調べた文献の中に見当たらない。   |
| 糖尿病・内分泌                      | 調べた文献の中に見当たらない。   |
| 生殖・泌尿器                       | 調べた文献の中に見当たらない。   |
| 脳・神経・感覚器                     | 調べた文献の中に見当たらない。   |
| 免疫・がん・炎症                     | 調べた文献の中に見当たらない。   |
| 骨・筋肉                         | 調べた文献の中に見当たらない。   |
| 発育・成長                        | 調べた文献の中に見当たらない。   |
| 肥満                           | 調べた文献の中に見当たらない。   |
| その他                          | 調べた文献の中に見当たらない。   |

参考文献

- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
- (23) 天然食品・薬品・香粧品の事典 朝倉書店 小林彰夫ら 監訳
- (29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館
- (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)
- (33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シェヴァリエ
- (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS).
- (75) エビデンスに基づくハーブ&サプリメント事典 南江堂
- [\(PMID:17443544\) Cochrane Database Syst Rev. 2007 Apr 18; \(2\):CD004295.](#)
- [\(PMID:18425903\) Cochrane Database Syst Rev. 2008 Apr 16; \(2\):CD004465.](#)
- [\(PMID:9159606\) J Intern Med. 1997 Apr;241\(4\):337-9.](#)
- [\(PMID:20565457\) Br J Clin Pharmacol. 2010 Jun;69\(6\):656-62.](#)
- [\(PMID:18411400\) Drug Metab Dispos. 2008 Jul;36\(7\):1308-14.](#)
- [\(PMID:21887804\) Phytother Res. 2012 Feb;26\(2\):291-8.](#)
- [\(PMID:1301354\) Eur J Drug Metab Pharmacokinet. 1992 Oct-Dec;17\(4\):257-62.](#)
- [\(PMID:22867637\) J Ethnopharmacol. 2012 Sep 28;143\(2\):648-55.](#)
- [\(PMID:9768962\) Ann Thorac Surg. 1998 Sep;66\(3\):941-2.](#)
- [\(PMID:7487701\) Aust N Z J Med. 1995 Jun;25\(3\):258.](#)
- [\(PMID:22541637\) Phytomedicine. 2012 May 15;19\(7\):648-57.](#)
- [\(PMID:19679455\) Phytomedicine. 2010 Mar;17\(3-4\):203-11.](#)
- [\(PMID:24832110\) J Ethnopharmacol. 2014 Jul 3;154\(3\):672-86.](#)
- [\(PMID:26925159\) Chin Med. 2016 Feb 27;11:7.](#)
- [\(PMID:20637580\) Phytomedicine. 2010 Sep;17\(11\):876-83.](#)
- [\(PMID:29496531\) Food Chem Toxicol. 2018 Sep;119:302-308.](#)
- [\(PMID:31519293\) Complement Ther Med. 2019 Oct;46:87-94.](#)